

(公社)須賀川労働基準協会活動実績(令和6年度分) (令和6年4月～令和7年3月の活動)

1. 令和6年4月～令和7年3月の活動の活動概況

令和6年度の活動を概括すると、「コロナ前に戻って通常の活動を行った」ということができると思います。細かくは書きませんが、この5年ほどは「水害による安全大会の中止」や「コロナ禍による、活動の自粛」「須賀川での県安全衛生大会の開催」など、通常の活動を変更せざるを得ない状況が続きました。

令和6年はこれらの制約がなく、事業活動は通常の状態に戻り、総会や安全衛生大会での懇親会も開催することができて、会員交流や有意義な意見交換もできました。

課題もあります。教育講習については全体としては受講者が減少しており、教習項目によっては受講者が確保できず中止とした講習もありました。次年度以降継続的課題として取り組みます。

2. 【事業別の活動】

2-1. 公益事業1 労働関係法の啓蒙等、安全衛生活動の推進に関する事業

(1). 須賀川地区産業安全衛生大会の開催

10月20日サンルート須賀川で須賀川地区産業安全衛生大会を開催いたしました。

福島県大会は須賀川労働基準協会の公益事業ではありませんが、喜多方で開催され下記の方々が表彰されております。

福島労働基準協会長賞 石井 政美 殿 (産業安全)

福島労働基準協会長賞 長田 春治 殿 (労働衛生)

須賀川地区産業安全衛生大会では下記の方々が表彰されております。

優良事業場(安全)	TSK株式会社	殿
-----------	---------	---

優良事業場(安全)	株式会社パラマウント加工	殿
-----------	--------------	---

優良事業場(安全)	東京工装株式会社 福島工場	殿
-----------	---------------	---

優良事業場(衛生)	須賀川瓦斯株式会社	殿
-----------	-----------	---

優良事業場(衛生)	株式会社宇野製作所 FD工場	殿
-----------	----------------	---

功績者賞(安全)	14名
----------	-----

功績者賞(衛生)	8名
----------	----

(2). 各種説明会及び研修会の開催

「安全週間実施説明会」 6月10日 実施 (58名)

「衛生週間実施説明会」 9月 5日 実施 (42名)

「労務研修会」 12月11日 実施 (50名)

「労災研修会」 3月11日 実施 (60名)

(3). 事業目的推進のため広報活動

① 協会だよりの発行 – 6月・12月に発行(執行体制紹介・監督署長新任挨拶・大会の報告)

② 協会通信の発行 – 毎月発行し、活動状況や法改正、監督署情報等の広報を行う。

③ ホームページの更新 – 随時実施(講習会の案内、活動報告、各種情報の提供)

福島労働局・須賀川労働基準監督署からの情報を掲載
更新しており、タイムリーで豊富な情報提供ができるが
情報伝達の確実性等の課題もある。継続・充実を図る。

④ 「安全標語」の募集と – 5月募集、7月に会員事業場へ配布を行っている。この数年

標語印刷及び配布 応募する事業場が限定されており、応募者・応募事業場の
拡大策を検討する必要がある。

(4). 労働安全衛生行政(福島労働局及び須賀川労働基準監督署)との連携・協力

- ① 協会通信及びホームページで、労働局及び監督署からの情報を掲載し、事業場の安全活動に供した。福島労働局からの連携が強化され、月初の労働局からの情報提供を受け、毎月上旬の須賀川労働基準協会ホームページでの情報提供を実施。
(福島労働局メールマガジン : 協会ホームページに掲載)
- ② 例年の活動では、労働局主催の労働災害防止団体連絡会や県中保健福祉事務所主催の県中圏域職域連絡会議、また須賀川地域産業保健センター主催の会議などに出席している。得られた情報は「協会通信」および協会HPにて、掲載している。

(注) 下記「3 その他:法人としての活動」で再掲

2-2. 公益事業2 労働安全衛生に関する講習会及び研修会の開催に関する事業

前年度の大幅な受講者増から一転して、令和6年度の教育講習事業の受講者数は減少した。講習受講者数の推移は別紙のとおりであるが、6年度の特徴と教育講習事業に関する7年度の課題を下記に整理する。

- ① 前年度の受講者数が多かったのはテールゲートリフター、化学物質関連の新たな講習であった。6年度はそれらが一巡したためであり、新たな講習が加わらなければ状況は厳しい。
- ② 従来教育講習の柱であった技能講習の「玉掛」「床上操作式クレーン」「ガス溶接」は長期的には受講者数が減少傾向にあり、収入の安定的確保の面から懸念がある。
(この記述は前年度と同様である)
- ③ 講師が高齢化していおり、講師の若返り、確保が課題となっている。
(これも、継続的課題である)

(1) 技能講習に関する講習 「計7回実施」

- | | | |
|----------------------------|--------|--------------|
| 玉掛技能講習 | (2回実施) | (受講者少なく1回中止) |
| ガス溶接技能講習 | (2回実施) | |
| 床上操作式クレーン技能講習 | (1回実施) | |
| (クレーンの技能講習は今後「特別講習」へ切り替える) | | |

(2) 労務管理及び安全衛生特別教育に関する講習

職長教育・安全管理者選任時講習・安全衛生推進者教育・アーク溶接講習・有機溶剤作業者教育・リスクアセスメント教育・新入社員教育等の講習を実施した。

5年度に受講者が多かった「テールゲートリフター」はピークアウトしもう一つの教育項目である、「化学物質管理者」「保護具管理者」は継続した。

(3) その他 教育講習全般に対して

上記概況の①～③の課題を解決するため、関係者からアドバイスをいただき、情報収集を行い具体的検討を進めたい。

2-3. 収益事業 安全衛生管理関連図書及び設備等の斡旋、共同購入に関する事業

「安全週間」「衛生週間」「年末年始」「新年度」等の安全衛生活動の時期にポスター、安全用品、図書等の紹介斡旋及び販売を行った。ほぼ例年通り。

2-4. その他事業1 労働保険事務業務

労働保険事務業務を受託し、労働保険、雇用保険関連業務を遂行。

雇用保険資格取得及び喪失の業務(隨時)、労働保険料納付処理(年3回)他事業単体としての採算性確保が困難なため、令和7年度は業務委託料の値上をお願いする。

2-5. その他事業2 会員交流・福利厚生に資する事業

(1) 事業場が実施する定期検診の実施機関の斡旋、紹介。

「福島県労働保健センター」及び「郡山病院」と連携し、事業場の健康診断検診機関の紹介等 事業場の健康診断実施をサポートする事業。

令和6年度は郡山病院の担当者が急逝し、事務手続き面で混乱が生じ、入金が遅れるなどの弊害もあり、協議をした。(年度での入金は間にあった)

(2) 福島県労働基準協会及び県内各地区基準協会との連携・協力

公益事業I のところでも少し触れたが、

①令和7年度 福島県安全衛生大会が喜多方市で開催された。

②定例の連絡会として例年2回開催されており、各協会の情報提供を受け、須賀川労働基準協会の活動面で参考にしている。令和6年度秋は白河市で開催された。次年度7年度は須賀川市での開催予定。(石川の母畠温泉八幡屋を確保)

3. 【その他:法人としての活動】

(1) 行政及び地域との連携

① 「福島労働局:労働災害防止団体会議」参画(例年3月下旬に開催)

労働局の基本方針の説明を受け、協会活動と行政の連携を強化する機会であり、各種の情報提供を受けている。「協会通信」「協会ホームページ」にとって大事な情報源である。

令和6年度は「第14次労働災害防止中期計画」(5年間)の2年目であった。

② 「県中地域職域連携協議会」参画(県中保健福祉事務所との連携)

地域の健康増進に関して、その活動を広報面で協力した。

一方、「衛生週間説明会」等で保健福祉事務所から講師派遣もお願いしている。

③ 「須賀川地域産業保健センター運営協議会」参画

須賀川地区の小規模事業場の健康管理促進活動に協力した。

(2) 会員事業場からの労働問題等の相談対応

会員事業場から問い合わせがあった場合など、監督署や職安に内容を相談しそれに基づき、回答をさせてもらっている。

(3) 公益社団法人として「定期報告書」の提出及び「業務監査」を受診

公益社団法人の定期報告は通常下記の3件があるが、いずれも提出している。

令和6年度は監督官庁からの「監査」はなかった。

①3月末提出 : 次年度の活動計画及び予算

②6月末提出 : 前年度の活動実績及び決算

③通常7月提出 : 理事の変更登記と変更届

④3年に1度の「労働保険事務組合」の業務監査

⑤3年に1度の「公益法人」の業務監査

次ページに毎月の活動記録を掲載いたします。

2. 毎月の活動および今後の活動計画

月	日	活動内容	場所	参加者
4月	11	協会会計監査	協会会議室	監事(鈴木・渡辺) 事務局:大倉・柳沼
	16	理事会(年度まとめと総会へ向けて)	労働福祉会館	理事・監事
	15	テールゲートリフター講習 ☆	労働福祉会館	26人
	17	RST須賀川監査	協会会議室	RST監事・大倉
	18	福島労働局 三部長着任のご挨拶	協会	大塚会長・大倉
	24	新入社員研修会 ☆	LIXIL研修センター	25日も実施 44名
5月	10	化学物質 保護具着用管理者講習 ☆	LIXIL研修センター	34名
	16	玉掛け技能講習(16日・17日・19日) ☆	神田産業・三瓶重機	15名
	20	福島県 労働基準協会会計監査	福島市	大倉
	22	須賀川労働基準協会総会	グランシア	懇親会も開催
	28	労働保険事務組合総会	郡山市	柳沼
	28	職長教育講習会(28日・29日) ☆	LIXIL研修センター	23名
	30	化学物質管理者講習 ☆	LIXIL研修センター	13名
6月		安全標語選考(6月)		
	10	全国安全週間説明会	LIXIL研修センター	58名
	11	福島県労働基準協会総会	福島市	大塚会長 大倉
	20	床上操作式クレーン講習(20日、21日、23日) ☆	市民温泉・ヒロセ	11名
	28	RST須賀川総会	グランシア	
	30	公益法人定期報告書を県へ提出 (年3種類)	福島県	事務局
7月		安全週間(7/1~7/7)	各事業場	ポスター等掲示
	1	安全標語応募事業場訪問	標語応募事業場	大倉
	4	化学物質保護具着用管理者講習 ☆		15名
	5	職員の健康診断(2日、18日)	労働保健センター(郡山)	
	9	自由研削といし講習 ☆	神田産業(株)	
	12	役員登記	福島地方法務局	事務局
	20	ガス溶接技能講習(実技21日) ☆	市民温泉・三瓶自動車	9名
	24	事務組合研修会 参加	郡山	柳沼
	26	化学物質管理者講習会 ☆	LIXIL研修センター	7名
	29	RST須賀川 須賀川駅工事現場見学	須賀川駅	JR・市役所
8月	22	職長教育(製造)(22日、23日) ☆	LIXIL研修センター	25名
	27	リスクアセスメント講習(事業場単独開催) ☆	事業場会議室	17名
	28	職長・安責者教育(建設)(28,29日) ☆	LIXIL研修センター	18名
9月	5	衛生週間実施説明会	LIXIL研修センター	42名
	6	リスクアセスメント講習 ☆	LIXIL研修センター	16名
	10	理事会	須賀川市交流センター	22名
	20	フルハーネス講習会 ☆	神田産業	21名
	26	玉掛け技能講習 ☆	市民温泉	13名
	1	福島県産業安全衛生大会	喜多方市	21名
10月	10	保護具管理者講習 ☆	LIXIL研修センター	5名
	23	須賀川地区産業安全衛生大会	ホテル・サンルート	68名
	26	クレーン特別教育 ☆	神田産業・ヒロセ	11名

月	日	活動内容	場所	参加者
11 月	1	福島県労働基準協会連絡会	白河基準協会	事務局3名
	11	化学物質管理者講習会 ☆	管工事組合会館	14名
	12	職長教育(製造)・(12,13日) ☆	LIXIL研修センター	14名
	19	職長・安責者教育(19. 20日) ☆	市民温泉	14名
	25	石綿講習(須賀川瓦斯単独) ☆	須賀川瓦斯	20名
12 月	5	アーク溶接講習(5, 6日) ☆	市民温泉	14名
	9	教育講習機関として監査を受ける	協会会議室	2名(大倉・近内)
	11	労務研修会	LIXIL研修センター	50名
		安全衛生推進者講習		中止
1 月	9	・安全祈願祭、役員会	神炊館神社・虎屋	23名
	25	・ガス溶接講習(25日、26日) ☆	市民温泉・三瓶自動車	15名
2 月	7	RST須賀川研修会&新年会	グランシア須賀川	11名
	12	石川方部安全衛生研究会工場パトロール	浅川地区	18名
	14	・リスクアセスメント講習 ☆	LIXIL研修センター	17名
	26	・職長教育(製造)(26日, 27日) ☆	LIXIL研修センター	13名
3 月	6	・理事会(事業計画・予算)	Tette	23名
	11	・労災研修会	LIXIL研修センター	60名
	13	・玉掛け技能講習(13日、14日、16日) ☆		中止
	24	・労働局災防団体連絡会／県協会連絡会議	福島市	大倉
	31	・令和6年度の締め／公益法人定例報告	福島県へ	提出済

広報関係	協会だより「6月:新年度会長挨拶」「斎藤署長挨拶」など ホームページ適宜更新。 協会通信「4月,5月,7月,8月,9月」
	①局・監督署からの情報、②講習会案内

(注) 網掛けの活動は 組織全体に関係する活動： 概ね公益事業 I の事業

☆印の活動は「教育講習」の活動 : 公益事業 II の事業